

第227回柏崎地域早期景気観測調査 報告書

< LOBO調査結果 >

— 平成30年10月期 —

〔調査方法〕

会員企業172社に対して、毎月下旬に【業況】【売上】【採算】【資金繰り】【仕入単価】【従業員】【資金借入難易感】の7項目について「前年同月比」(※従業員DIについては今年水準)および「向こう3か月の先行き見通し」の調査を依頼、翌月上旬までに寄せられた回答を集計し、その結果をDI値で表します。

DI値は、実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味します。

〔DI値とは〕

DI値(景況判断指数)とは、「増加・好転」などの回答割合から「減少・悪化」などの回答割合を引いたもので、景況感の方向、強弱を示します。

【業況】…「好転」-「悪化」

【売上】…「増加」-「減少」

【採算】…「好転」-「悪化」

【資金繰り】…「好転」-「悪化」

【仕入単価】…「下落」-「上昇」

【従業員】…「不足」-「過剰」

【資金借入難易感】…「容易」-「困難」

〔調査対象業種〕

建設業 総合工事業、設備工事業、職別工事業

製造業 鉄鋼・金属製品・機械器具製造業、食料品・印刷・窯業・土石製品製造業

卸売業 建材・鉱物・機械器具卸売業、飲食料品・衣服等卸売業

小売業 飲食料品小売業、衣料・身の回り品・その他小売業

サービス業 宿泊業、飲食サービス業、生活関連サービス業

〔調査対象数・回答状況〕

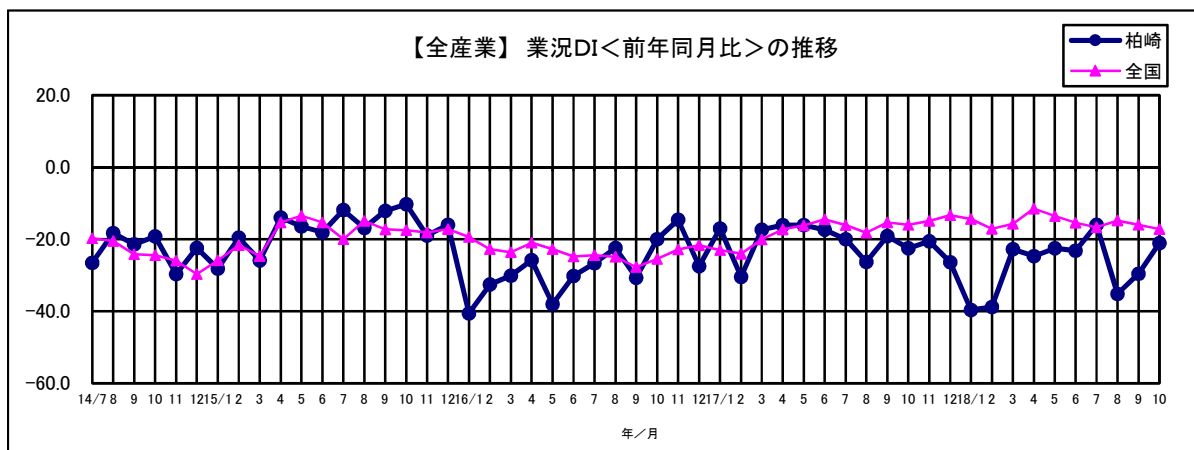
業種	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	全産業
調査対象数	39	46	25	27	35	172
回答数	27	33	16	12	27	115
回答率(%)	69.2%	71.7%	64.0%	44.4%	77.1%	66.9%



柏崎商工会議所

◆概況(全産業合計)

項目		18年5月	18年6月	18年7月	18年8月	18年9月	18年10月	先行き見通し 11月~1月
業況	柏崎	▲ 22.5	▲ 23.2	▲ 16.0	▲ 35.2	▲ 29.6	▲ 21.1	▲ 27.5
	全国	▲ 13.6	▲ 15.4	▲ 16.7	▲ 14.8	▲ 16.0	▲ 17.2	▲ 16.8
売上	柏崎	▲ 23.4	▲ 20.3	▲ 15.2	▲ 39.7	▲ 31.6	▲ 22.5	▲ 25.6
	全国	▲ 9.1	▲ 10.1	▲ 11.5	▲ 9.0	▲ 12.2	▲ 13.6	▲ 7.3
採算	柏崎	▲ 25.5	▲ 31.3	▲ 21.3	▲ 40.7	▲ 29.5	▲ 28.3	▲ 26.7
	全国	▲ 14.8	▲ 15.0	▲ 16.4	▲ 14.7	▲ 17.6	▲ 17.9	▲ 15.5
資金繰り	柏崎	▲ 8.8	▲ 10.5	▲ 10.6	▲ 18.4	▲ 15.6	▲ 13.6	▲ 16.7
	全国	▲ 8.3	▲ 8.5	▲ 9.0	▲ 9.4	▲ 10.4	▲ 9.2	▲ 9.2
仕入単価	柏崎	▲ 42.6	▲ 48.2	▲ 43.1	▲ 42.7	▲ 45.7	▲ 47.6	▲ 43.5
	全国	▲ 41.6	▲ 42.2	▲ 43.3	▲ 43.0	▲ 41.9	▲ 41.9	▲ 39.2
従業員	柏崎	18.5	24.5	24.4	21.1	23.0	29.0	30.9
	全国							25.9
資金借入難易感	柏崎	0.9	8.2	1.5	5.9	4.2	8.8	5.6



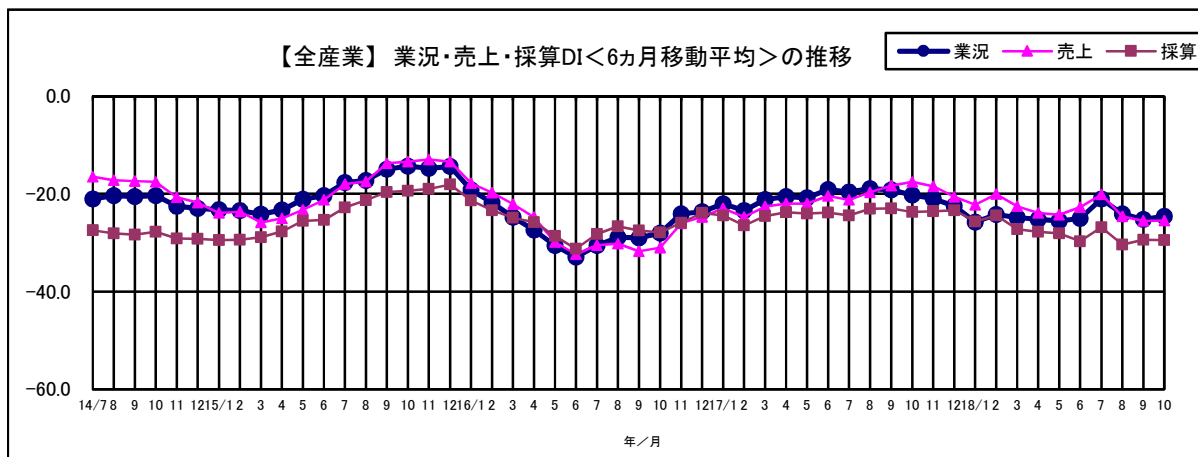
柏崎地域全体の業況DI値(前年同月比)は▲21.1となり、前月より8.5ポイントと若干改善した。製造業、サービス業中心に「好転」と回答した企業が微増した。

業種別に業況DI値をみると、製造業・卸売業・サービス業は改善、建設業と小売業は悪化した。しかし改善も「悪化」から「不変」への変化が主因であり、全体的には実体はほぼ横ばい。

【移動平均分析(全産業)】

時系列データでみた場合、データの変化が激しく、基本的な変化の傾向がつかみにくいことがあります。移動平均という方法を用いることにより、データ全体の変化の傾向を解析することができます。

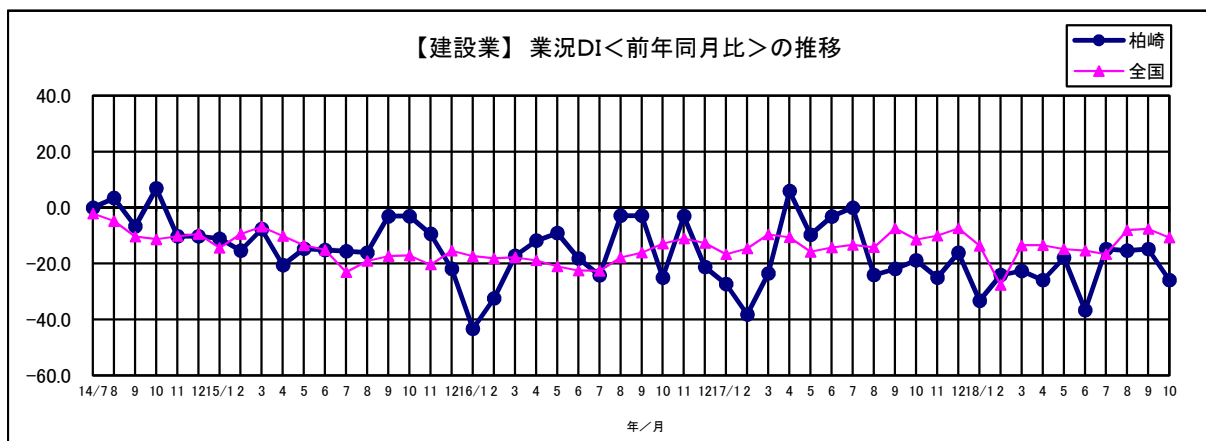
ここでは、業況・売上・採算の三項目について、当該月を含めて過去6ヵ月分の平均値を連続的に求め、グラフ化しています。



◆産業別調査結果

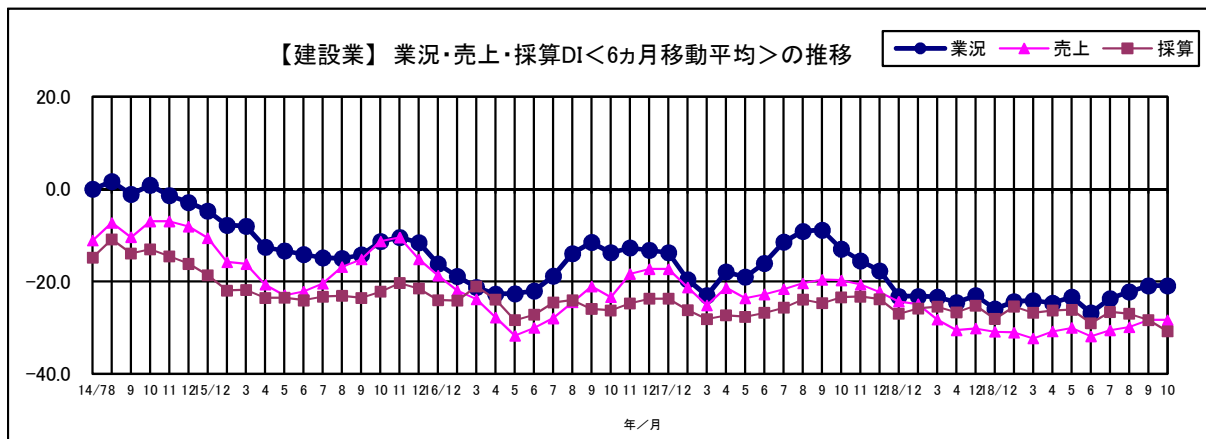
【建設業】

項目		18年5月	18年6月	18年7月	18年8月	18年9月	18年10月	先行き見通し 11月～1月
業況	柏崎	▲17.9	▲36.7	▲14.8	▲15.4	▲14.8	▲25.9	▲22.2
	全国	▲14.8	▲10.1	▲11.5	▲8.1	▲7.6	▲10.7	▲12.3
売上	柏崎	▲25.0	▲36.7	▲22.2	▲26.9	▲29.6	▲29.6	▲33.3
	全国	▲14.1	▲8.7	▲9.8	▲10.2	▲6.9	▲10.4	▲9.4
採算	柏崎	▲25.0	▲36.7	▲22.2	▲23.1	▲37.0	▲40.7	▲37.0
	全国	▲13.8	▲11.1	▲17.1	▲13.7	▲13.2	▲11.9	▲16.4
資金繰り	柏崎	▲10.7	▲10.0	▲11.1	▲11.5	▲18.5	▲22.2	▲22.2
	全国	▲4.6	▲4.4	▲6.6	▲5.6	▲4.3	▲5.3	▲6.6
仕入単価	柏崎	▲32.1	▲33.3	▲44.4	▲42.3	▲29.6	▲33.3	▲25.9
	全国	▲44.9	▲45.0	▲45.5	▲42.5	▲39.5	▲43.4	▲42.1
従業員	柏崎	25.0	20.0	37.0	42.3	37.0	51.9	48.1
	全国							33.0
資金借入難易感	柏崎	0.0	3.3	0.0	3.8	3.7	▲7.4	▲3.7



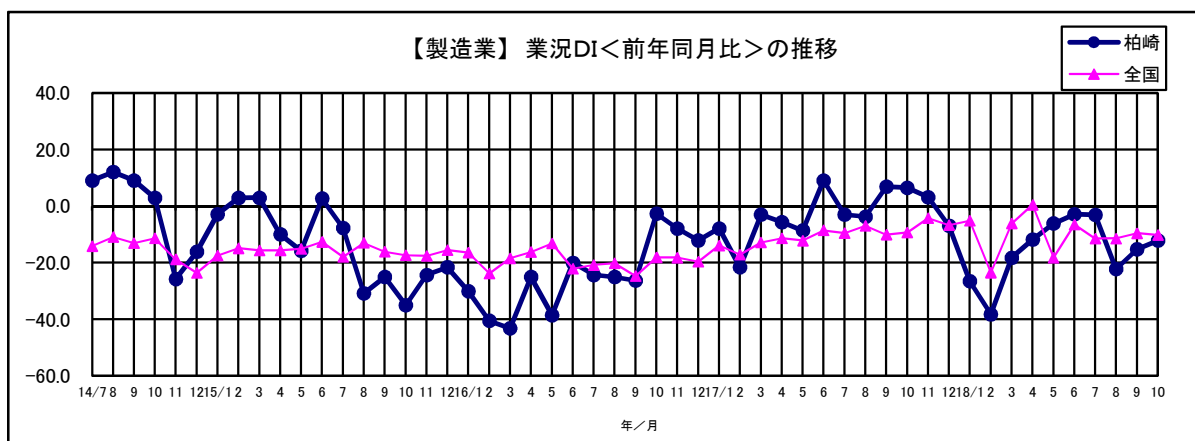
業況DI値は▲25.9となり、前月より11.1ポイント悪化となった(前月期▲14.8)。
内容別にみると、業況は、総合工事、設備工事、職別工事業とも「悪化」回答が多かった。「人手不足感」は他業種と比べても特に強い。

【移動平均分析(建設業)】



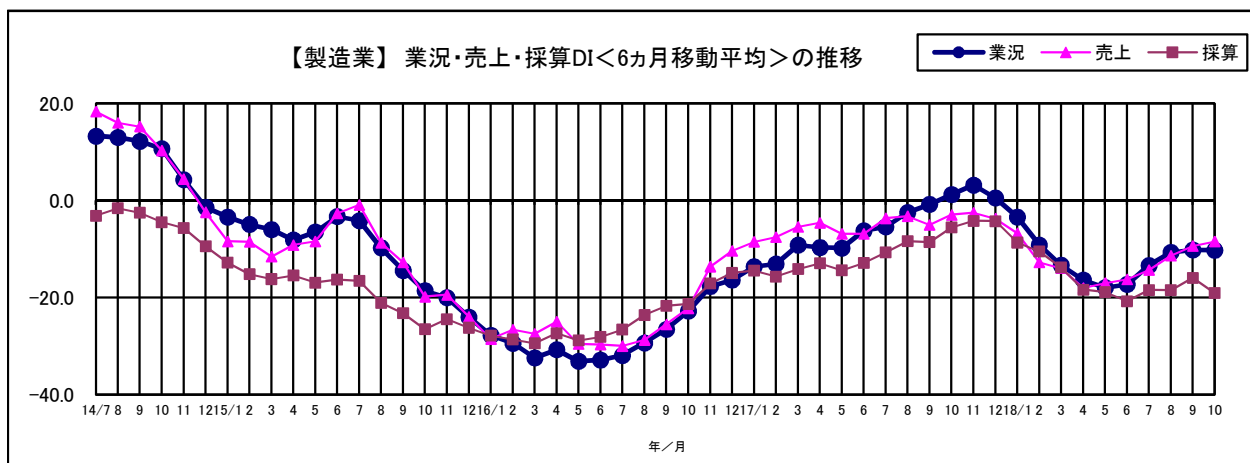
【製造業】

項目		18年5月	18年6月	18年7月	18年8月	18年9月	18年10月	先行き見通し 11月～1月
業況	柏崎	▲ 6.1	▲ 2.9	▲ 3.1	▲ 22.2	▲ 15.2	▲ 12.1	▲ 24.2
	全国	▲ 5.8	▲ 6.5	▲ 11.5	▲ 11.4	▲ 9.6	▲ 10.2	▲ 11.0
売上	柏崎	3.0	▲ 5.9	0.0	▲ 29.6	▲ 9.1	▲ 9.1	▲ 21.2
	全国	1.9	3.8	▲ 2.6	▲ 2.9	▲ 2.1	▲ 6.6	2.1
採算	柏崎	▲ 6.1	▲ 14.7	▲ 12.5	▲ 29.6	▲ 15.2	▲ 36.4	▲ 33.3
	全国	▲ 9.9	▲ 5.9	▲ 13.0	▲ 10.6	▲ 13.0	▲ 15.7	▲ 9.8
資金繰り	柏崎	▲ 3.0	▲ 2.9	▲ 6.3	▲ 7.4	▲ 12.1	▲ 12.1	▲ 15.2
	全国	▲ 6.8	▲ 5.0	▲ 7.0	▲ 7.7	▲ 9.8	▲ 8.7	▲ 7.2
仕入単価	柏崎	▲ 51.5	▲ 47.1	▲ 43.8	▲ 37.0	▲ 42.4	▲ 63.6	▲ 45.5
	全国	▲ 49.4	▲ 51.3	▲ 50.4	▲ 48.0	▲ 49.0	▲ 47.6	▲ 42.3
従業員	柏崎	12.1	23.5	15.6	22.2	12.1	12.1	12.1
	全国							21.7
資金借入難易感	柏崎	9.1	11.8	12.5	7.4	6.1	18.2	15.2



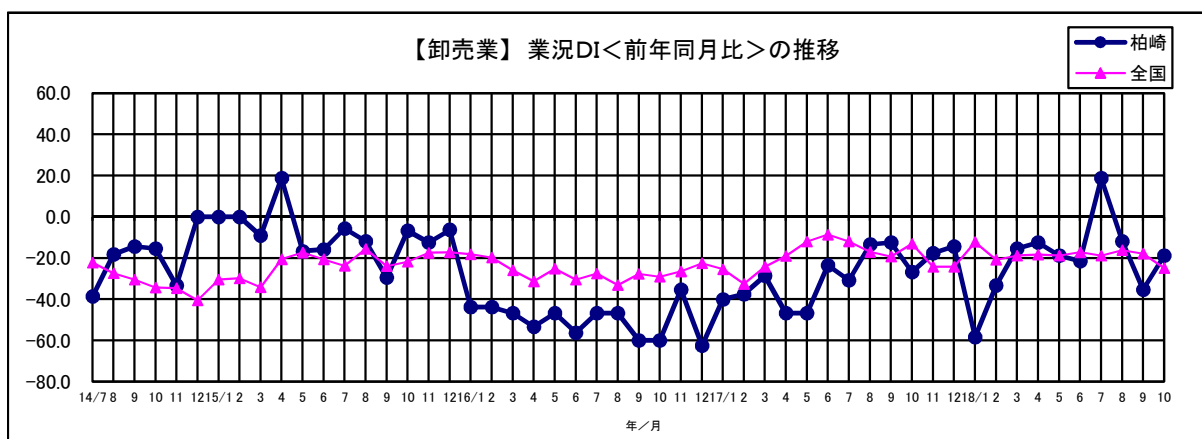
業況DI値は▲12.1となり、機械金属関連、機械金属以外製造でも「好転」と回答する企業があった。しかし、仕入単価は上昇しており、採算は悪化している。また、従業員DI値はずっと「不足」であり、人手不足感は強い。

【移動平均分析(製造業)】



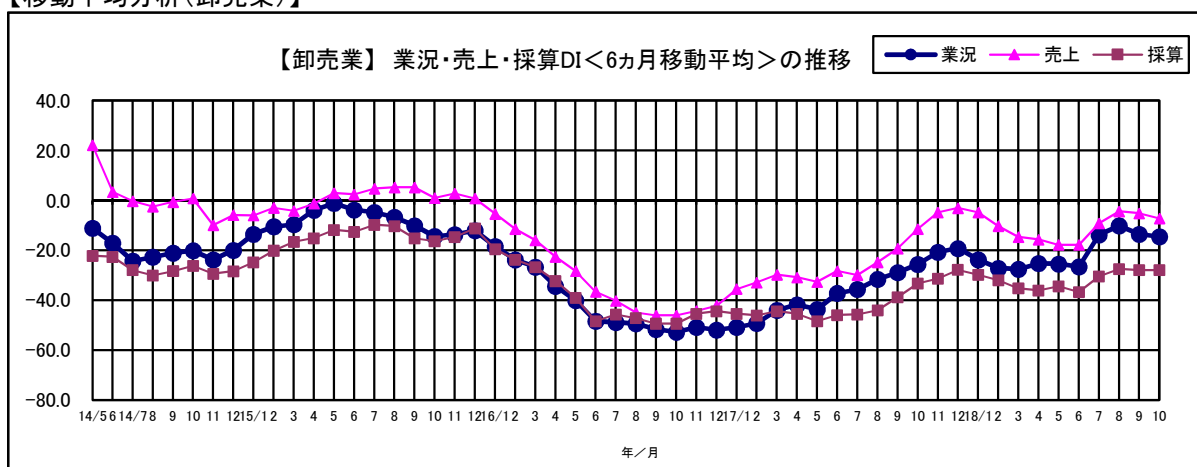
【卸売業】

項目		18年5月	18年6月	18年7月	18年8月	18年9月	18年10月	先行き見通し 11月～1月
業況	柏崎	▲ 18.8	▲ 21.4	18.8	▲ 11.8	▲ 35.3	▲ 18.8	▲ 18.8
	全国	▲ 19.4	▲ 17.1	▲ 18.8	▲ 16.1	▲ 17.8	▲ 24.9	▲ 20.4
売上	柏崎	▲ 12.5	▲ 7.1	18.8	▲ 11.8	▲ 11.8	▲ 18.8	▲ 12.5
	全国	▲ 13.8	▲ 14.7	▲ 12.0	▲ 4.1	▲ 10.3	▲ 13.8	0.4
採算	柏崎	▲ 25.0	▲ 28.6	▲ 12.5	▲ 35.3	▲ 41.2	▲ 25.0	▲ 12.5
	全国	▲ 13.4	▲ 11.8	▲ 14.4	▲ 8.8	▲ 13.1	▲ 14.2	▲ 6.7
資金繰り	柏崎	0.0	▲ 14.3	▲ 6.3	▲ 5.9	▲ 11.8	0.0	▲ 18.8
	全国	▲ 2.8	▲ 6.2	▲ 3.8	▲ 6.5	▲ 8.9	▲ 1.8	▲ 2.2
仕入単価	柏崎	▲ 37.5	▲ 42.9	▲ 56.3	▲ 41.2	▲ 52.9	▲ 50.0	▲ 43.8
	全国	▲ 35.5	▲ 36.0	▲ 39.4	▲ 41.9	▲ 46.9	▲ 44.9	▲ 44.9
従業員	柏崎	6.3	12.5	7.1	31.3	23.5	18.8	18.8
	全国							19.6
資金借入難易感	柏崎	0.0	0.0	6.3	0.0	5.9	6.3	0.0



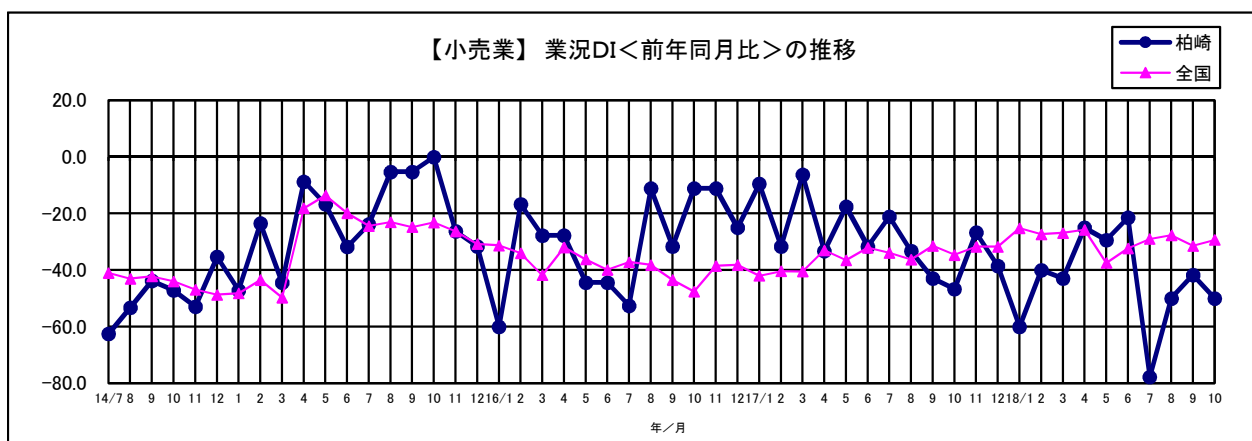
業況DI値は▲18.8となり前月期より13.5ポイント好転したが、「好転」から「不変」への変化が主因であり、実体はほぼ横ばい。建材・鉱物卸売業では、好転と回答する企業も一部みられた。

【移動平均分析(卸売業)】



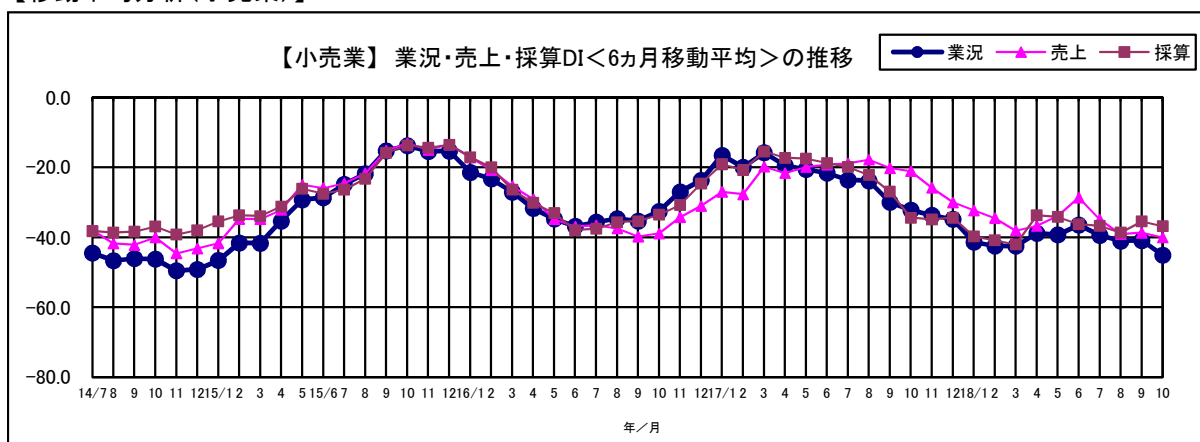
【小売業】

項目		18年5月	18年6月	18年7月	18年8月	18年9月	18年10月	先行き見通し 11月~1月
業況	柏崎	▲ 29.4	▲ 21.4	▲ 77.8	▲ 50.0	▲ 41.7	▲ 50.0	▲ 33.3
	全国	▲ 26.5	▲ 32.3	▲ 29.0	▲ 27.7	▲ 31.4	▲ 29.3	▲ 29.0
売上	柏崎	▲ 23.5	▲ 14.3	▲ 77.8	▲ 58.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 25.0
	全国	▲ 24.0	▲ 27.0	▲ 24.4	▲ 23.2	▲ 30.4	▲ 25.4	▲ 20.6
採算	柏崎	▲ 29.4	▲ 35.7	▲ 55.6	▲ 58.3	▲ 16.7	▲ 25.0	▲ 25.0
	全国	▲ 27.3	▲ 28.8	▲ 24.4	▲ 21.7	▲ 27.9	▲ 27.7	▲ 24.9
資金繰り	柏崎	▲ 17.6	▲ 28.6	▲ 33.3	▲ 41.7	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 25.0
	全国	▲ 15.5	▲ 16.2	▲ 14.8	▲ 16.2	▲ 19.6	▲ 17.3	▲ 16.5
仕入単価	柏崎	▲ 35.3	▲ 42.9	▲ 33.3	▲ 41.7	▲ 50.0	▲ 41.7	▲ 50.0
	全国	▲ 35.0	▲ 34.3	▲ 38.4	▲ 37.4	▲ 34.7	▲ 36.1	▲ 33.1
従業員	柏崎	▲ 11.8	▲ 7.1	▲ 33.3	▲ 25.0	8.3	▲ 8.3	▲ 8.3
	全国							23.9
資金借入難易感	柏崎	0.0	0.0	▲ 11.1	0.0	▲ 8.3	8.3	0.0



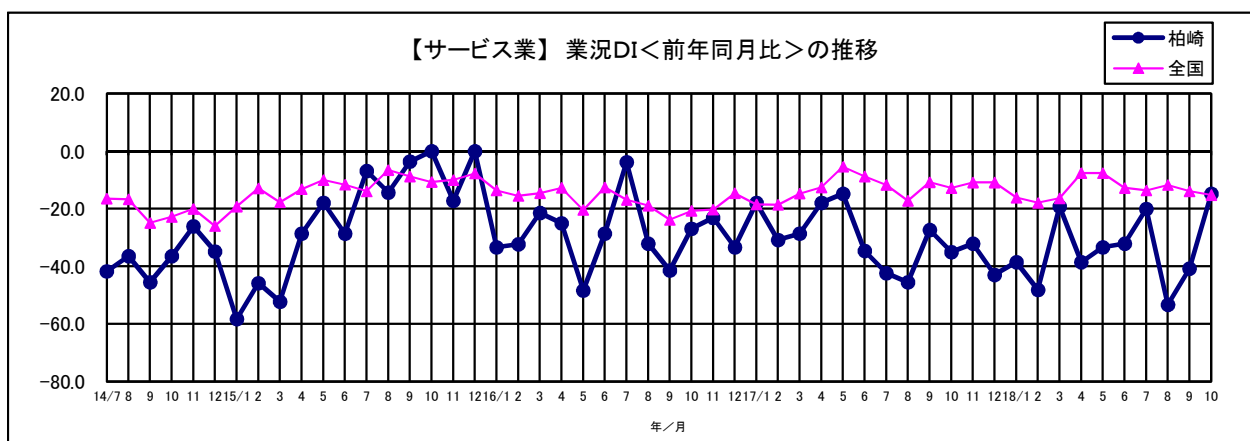
業況DI値は▲50.0となり、前月より若干悪化した。食品小売を中心に、業況、売上、採算いずれも「悪化」と半数以上が回答しており、厳しい状況となっている。

【移動平均分析(小売業)】



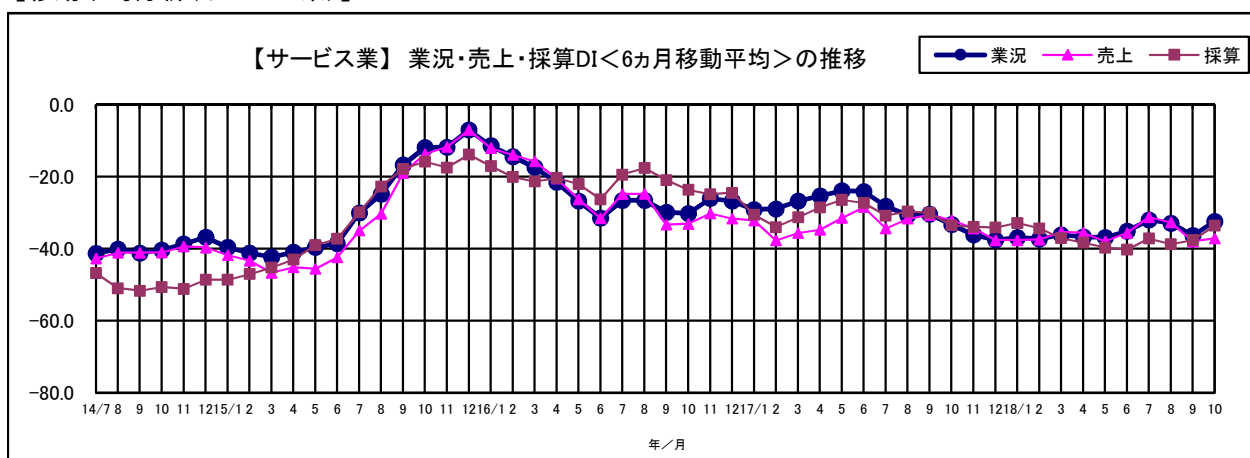
【サービス業】

項目		18年5月	18年6月	18年7月	18年8月	18年9月	18年10月	先行き見通し 11月~1月
業況	柏崎	▲ 33.3	▲ 32.1	▲ 20.0	▲ 53.3	▲ 40.7	▲ 14.8	▲ 33.3
	全国	▲ 7.6	▲ 12.8	▲ 13.6	▲ 11.7	▲ 13.9	▲ 15.2	▲ 14.0
売上	柏崎	▲ 43.3	▲ 28.6	▲ 16.0	▲ 53.3	▲ 55.6	▲ 25.9	▲ 29.6
	全国	▲ 2.7	▲ 8.9	▲ 10.4	▲ 5.1	▲ 11.0	▲ 13.0	▲ 8.0
採算	柏崎	▲ 36.7	▲ 39.3	▲ 20.0	▲ 50.0	▲ 37.0	▲ 18.5	▲ 22.2
	全国	▲ 10.9	▲ 16.4	▲ 13.4	▲ 16.4	▲ 18.3	▲ 17.7	▲ 16.7
資金繰り	柏崎	▲ 10.0	▲ 7.1	▲ 8.0	▲ 23.3	▲ 11.1	▲ 7.4	▲ 11.1
	全国	▲ 8.8	▲ 9.3	▲ 10.0	▲ 9.4	▲ 7.9	▲ 9.1	▲ 9.9
仕入単価	柏崎	▲ 46.7	▲ 60.7	▲ 40.0	▲ 46.7	▲ 51.9	▲ 44.4	▲ 48.1
	全国	▲ 40.0	▲ 40.8	▲ 40.7	▲ 43.4	▲ 40.1	▲ 38.7	▲ 36.8
従業員	柏崎	36.7	46.4	40.0	26.7	29.6	48.1	55.6
	全国							29.6
資金借入難易感	柏崎	▲ 3.3	14.3	▲ 4.0	10.0	7.4	11.1	7.4



業況DI値は▲14.8となり前月より25.9ポイント好転した(前月期▲40.7)。売上、採算DI値も好転している。観光サービス業を中心に、「好転」の回答企業が多いが、従業員DI値をみると、依然人手不足感が非常に強い。

【移動平均分析(サービス業)】



●10月期調査に寄せられたコメント(自社の動向、経営上の課題など)

<製造業>

- ・人件費削減のため(適正な人員の確保)、下期計画の策定に時間を要した。働き方改革をすすめ、時間外労働の削減に取り組んでいる。(機械金属製造業)
- ・来年1月より、材料の紙が20~10%上昇する(卸値)。(機械金属以外の製造業)
- ・近年、経験がないほどの受注があり、設備が全般的に故障を起こしてしまい、経費が大きく発生、また、人員不足は解決せず、増産するにも限界があるという状況となって、利益は思いのほか伸びていない。(機械金属製造業)

<卸売業>

- ・フル稼働の割には利益が上がらない。(建材・鉱物・機械卸売業)

<小売業>

- ・会社としては、昨対126%の進捗ではあるが、柏崎市内にける小売部門は厳しさが続いている。このままこの状況が続けば、小売部門の縮小をせざるを得ない状況となる。それに対し、PB事業部(プライベートブランド)は堅調に推移し、過去最高の売上利益を獲得することができた。昨年対比で売上が285%、利益332%と好調である。この事業部は全て県外からの受注で成り立っている。さらなる大きなマーケットへ戦略的に打って出たいと考えている。

<サービス業>

- ・柏崎市全体の景況が悪化している感があり、業況は厳しい。
- ・柏崎マラソンの当日の利用者が前年より252名少なく、売上も78%であった。市内の色々なところでイベントがあり、人出が分散した結果、毎週末不振。天気も良く屋外のイベント、行楽に人が出て行ったと思う。

●【参考】全国版LOBO調査に寄せられた各業種の特徴的なコメント

<建設業>

- ・公共工事が減少しているにも関わらず、人手不足の深刻化から受注を見送らざるを得なくなり、売上は悪化した。鉄鋼を始めとする建設資材価格の高止まり等により、採算の確保にも苦戦している。(管工事業)
- ・工場や事業所建設などの民間工事が多く、売上は改善。さらなる売り上げ増を図るため、建設機械などの新規設備投資を実施した。(一般工事業)

<製造業>

- ・アジア向けを中心に輸出は堅調。しかし、中国経済の減速など、米中貿易摩擦の影響が顕在化しつつあり、先行き不透明感は拭えない。(自動車部品製造業)
- ・ナフサ価格の上昇から原材料の値上げが相次ぎ、収益が圧迫されている。しかし、受注減を懸念して、価格転嫁には踏み切れない。(プラスチック製品製造業)

<卸売業>

- ・台風や全国的な異常気象の影響から、レタス・キャベツ等の生鮮野菜の価格が高騰していることに加え、高値による消費者の買い控えもあり、採算・売上ともに悪化した。(農産物卸売業)
- ・企業の設備投資受容を背景に、受注増が続が続いている。今後も安定した受注が見込めるため、人員増強を図り、さらなる売上改善を目指す。(電気機械卸売業)

<小売業>

- ・関西空港の一時閉鎖、航空会社による減便の影響で減っていた来店客数が戻りつつあり、特にインバウンド需要は、ほぼ被災前の水準まで回復した。(医薬品等小売業)
- ・消費者の節約志向から、秋物商戦が低調で、売上は悪化。来年10月に予定される消費増税・軽減税率制度に対応したレジの導入も急がねばならず、資金繰りにも苦慮している。(飲食料品小売業)

<サービス業>

- ・秋の観光シーズンを迎え、客数増を期待していたが、3連休に台風25号が直撃し、予約のキャンセルが出てしまった。農産物価格の高騰や、最低賃金の上昇により、採算も悪化した。(宿泊業)
- ・自動車部品などを中心に製造業からの配送依頼が多く、売上は改善。これを機に賃上げや福利厚生の実等を図り、人手不足の解消につなげたい。(運送業)